

## 町田市議会・志政クラブ

# 吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集



携帯QRコード  
でブログ閲覧



インターン生と国会へ

## 公園駐車場が有料化にならなかった最大理由

さる 12 月定例会に提案された公園駐車場の有料化案を、議会は承認しませんでした。扱いは次回の定例会に「継続審査」としましたが、町田市議会がこのまま有料化の条例案を認めることはありません。

その理由は、今回の有料化案が受益者負担を求める内容になっていることで、利用者から行政に一定の収入が見込めますが、他方で、その有料化のための料金徴収システム（機械と人件費）の導入と運営に過大な支出を必要とすることが分かったことがあります。

今回の論議を通じて、行政のやり方は結果的に無用な設備投資を図り、あわせて運営経費も無駄な出費をもたらす可能性が高い施策があることが本会議と委員会の審議を通じて判明しました。

思い返せば、公共施設の使用に関する受益者負担を原則とする有料化案(昨年 3 月に継続審査としたが、6 月に可決した議案)の審査も不十分でした。



(町田市立国際版画美術館の駐車場遠景)

## やまゆり号の保存 請願採択



老朽化した「やまゆり 1 号」の保存を求める住民請願が提出され、私が所属する健康福祉常任委員会で審議し、全委員が一致して採択しました。続く本会議でも同様に全会一致して採択し、請願者の求めをさらに充実するべきとの判断を示しました。

この「やまゆり 1 号」と言うのは、車椅子のままで乗車できる全国初のリフト付バスであり、元市長の大下氏が在職時の 1972 年に導入したものです。1980 年に廃車になった後、すみれ会館の外に展示保存されて来ましたが、野外にあることで痛みが激しくなっており、当時の関係者を含めて多数の要望があり、今回の請願に至ったとのことでした。

今日では、ごく一般的に見ることが出来る送迎用リフト付バスですが、当時は革新的な技術を持った障がい者用の乗り物でした。

福祉のあり方には市民にも議会にも様々な意見がありますが、歴史的なこのリフト付バスである「やまゆり 1 号」の保存には誰も異存はなく、私はむしろその展示をもって、その福祉施策に注目する考えが必要だとの考えを持ちました。

## ★マルチメディア双方向発信 吉田つとむ発見動画チャンネル

URL <http://j-expert.jp/> 発見動画チャンネル <http://jp.youtube.com/yoshidaben>

編集 〒194-0011 町田市成瀬が丘 1-14-12 サンホワイト E103-13 吉田つとむ (市議会議員)

町田市議会・志政クラブ

# 吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集



携帯QRコード  
でブログ閲覧



双方向の情報交流

## 給食牛乳の測定ができないように東京都がお達し

私は町田市内の学校給食用牛乳を購入し、その放射性物質の調査を検査機関に測定を求めて継続した結果、9月になって、6 Bq/kg(ベクレル)の放射性セシウムの検出調査を得たことをネット上に公表しました。

その情報を 10 月 23 日発行の「週刊 東洋経済」誌が、「給食の牛乳からセシウム 説明を怠る明治と町田市」とする大きな特集記事として取り上げました。

すると、そのニュースを知った東京都はあろうことか、直ちに町田市にヒアリングを行い、個人が放射性物質の含有量の測定をしようとするのをストップする目的で、業者に販売を断る措置を求めていました。私はその異変を知らないで、今回また購入をと求めましたが、納入業者も学校の答えもノーでした。

「明治」は自社が測定しているという数値の公表をしないとしており、東京都や町田市はその学校給食用牛乳の放射性物質の測定を自分でやるふしはまったく見えません。このままでは、児童は放射能汚染度がまったく分からないままで、学校給食用牛乳を飲まされ続けることになります。一刻も早く、ゼロベクレルに近づける努力をした給食用牛乳が供給されなければいけません。

## 支援学校や高校も放射線量等を測定求める意見書

町田市内においては、議会が再三要求して、

★吉田つとむの連絡先 TEL 042-795-7361 FAX 042-795-2726

◇ どうぞ、町田市政や議会に関するご要望や、ご意見をお気軽にお寄せ下さい。

ご連絡、お問い合わせは電話・FAX、メールにて。Mail : [yoshidaben@gmail.com](mailto:yoshidaben@gmail.com)

公立学校のホットスポットまで放射線量の測定を始めました。学校内で父兄が自主的に測定(最高 1  $\mu$ Sv/h 超を記録)したその土壌(放射性セシウム 7676.92 Bq/kg)を、私が行政に突きつけた結果、ようやく実現したものです。

12 月議会では、測定対象をストロンチウム、プルトニウムまで拡大するべきとした住民請願を全会一致して採択し、その主張を受け入れられました。もちろん、今回もまた行政が直ちに実施するとは思えません。



他方、東京都の支援学校や高等学校では、施設内の放射線等の測定が一切実施されていないことが判明しました。そこで、私が所属する志政クラブが中心になって、町田市内を含めて東京都全域を対象とした施設で、放射能測定を求める意見書を提出し、全会一致して可決しました。町田市から、東京都政の変換を求める情報発信となりました。

## <インターン生を募集中>

春休みに向け、第 29 期のインターン生を募集中です。大学 1 年生から応募可能です。

詳しくは、吉田つとむのHPをご覧ください

<http://j-expert.jp/tosei/int/main.html>